

学部のCP－学科のCP①

学部 CP	学科 CP①	
<p>理工学部では、幅広い教養や理工学全般の知識に加え、専門性の高い知識及び情報の収集・発信に関する知識を主体的に修得すること、また、それらを科学技術業界や地域社会へ活用し、貢献できる人材の育成を目的とし、教養を養成する基本教育科目、理工学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心とするカリキュラムを展開する。</p>	食環境学科	<p>食環境学科では、食と環境に関する幅広い知識を主体的に修得し、科学の基礎知識に根ざした情報収集力・情報分析力・論理的思考力を確実に身につけ、食環境の諸問題への取り組みを通じて社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目、食環境分野の基礎知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技能、論理的な思考力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p>
	生物科学科	<p>生物科学科では、生物科学全般に関する幅広い知識を主体的に修得し、データに基づいて分析する力及び論理的に思考する力を確実に身につけ、それらを社会へ発信して活用、貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目、生物科学分野の基礎知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p>
	機械工学科	<p>機械工学科では、機械工学分野に関する幅広い知識と技能を主体的に修得し、ものづくりを中心とした機械産業の諸課題を探究できる論理的かつ創造的な能力を実践的に身につけ、それらを活用して社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目、機械工学分野の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、応用領域や関連領域に関する専門性の高い知識と技能、論理的な思考力と問題解決能力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいて編成する。</p>
	情報電子工学科	<p>情報電子工学科では、情報・電子技術を駆使して、高度情報通信社会の諸問題に柔軟に対応し、新しい社会の構築に貢献する技術者の育成を目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目に加えて、情報・電子分野の技術を駆使するために必要な専門基礎科目および専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p>
<p>経営学部では、経営学全般の幅広い知識を主体的に修得し、それらを企業や社会の運営・管理に活用することのできる人材を育成する。この目的を果たすために、経営学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開する。</p>	経営学科	<p>経営学部では、経営学全般の幅広い知識を主体的に修得し、それらを企業や地域社会の運営・管理に活用することのできる人材を育成する。この目的を果たすために、経営学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開する。</p>
<p>人間学部では、人間が創り出した文化と人間の原点である教育を柱とする人間の理解に関する知識を主体的に修得し、それらを活用して地域社会の発展と向上に貢献できる人材の育成を目的とし、文化、教育に関する基礎的な知識を養成する専門基礎科目、より専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開する。</p>	人間文化学科	<p>人間文化学科では、人間が創り出した文化を言語、芸術、生活、社会の4側面からとらえ、今日の文化状況や文化構造に関する知識および関連する技能を修得することにより、地域社会の創成や文化振興に貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を達成するために、幅広い教養と文化学に関連する専門的知識を修得する科目、文化に関する各種情報を収集・分析し、その成果を的確に情報発信する能力を身に付ける科目、地域の文化振興に主体的に取り組む態度や志向性を涵養する科目、文化に関わる研究テーマについて調査・分析・考察を行い、それを一定の成果としてまとめ上げる能力を育成する科目により、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p>
	人間教育学科	<p>人間教育学科では、保育・教育に関する幅広い知識と基本的技能を主体的に習得し、現代社会における保育・教育の諸課題の解決に創造的、実践的に取り組む能力を身につけ、保育・教育の発展に寄与できる人材を養成することを目的とする。この目的を果たすために、保育・教育学の知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識や技能、また論理的、創造的に思考する能力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開し、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p>

生物科学科のCP②

教育上の目的	養成する人材	DP	CP②	授業科目	
地球環境の成立に重大な影響を与え、今もなお進化を続ける生物を対象として、分子・細胞のミクロのレベルから、個体の成り立ちや種および生態のマクロなレベルまで科学的に探求して幅広い知識・技能を修得し、調査・実験結果に対する解析力や論理的な思考力を確実に身につけ、それらを実践的に活用できる創造的能力を備えた人材を育成することを教育上の目的とする。	生物科学科では、生物科学全般に関する教育研究を通して、「社会の一員として求められる汎用的技能、態度や志向性及び人間社会と自然に関する知識の修得とともに、多様な生物の生理・生態とそれらを育む環境に関する学問分野を統合的に理解し、人間活動と生物・環境に係る諸課題を論理的に洞察・探求できる能力を備え、生命科学や自然環境の保護と再生・修復を担う技術者、生命の尊さと多様な生息環境を守ることの必要性を伝え教えることができる発信者の育成を目的とする。	生物学科では、次に掲げる四つの能力、すなわち、基礎的および専門的な幅広い学識を備えた豊かな人間力を有し、情報収集力と分析力および情報発信力を発揮して、主体的かつ意欲的な行動力による社会諸課題解決への姿勢を持ち続け、創造的思考力と研究遂行能力、を身につけた者に学士(理学)の学位を授与する。	【幅広い教養と専門的知識】 ①自然科学、社会科学、人文科学全般についての幅広い学識を備えた豊かな人間力を有し、さらに生物科学および関連学問分野の知識を総合的かつ体系的に理解している。	①-1 自然科学に関する基礎知識ならびに異文化理解や社会貢献への態度及び人間社会と自然に関する知識を深める社会科学、人文科学全般についての科目を配置する。	【自然科学分野】 物質とエネルギー②、生命と地球②、環境と科学②、基礎数学②、基礎物理学A②・B②、基礎化学A②・B②、物理学②、化学②、数学②、健康科学と身体運動② 【人文社会科学分野】 総合科目②、日本の歴史②、世界の歴史②、異文化理解の人類学②、哲学-知の起源-②、芸術と文化②、日本文学への誘い②、心理学-心の科学-②、社会学の世界②、地理学②、法と社会②、法と人権②、経済と社会②、地域と政策②
			①-2 生物科学全般と関連する幅広い専門知識・技能を養成するための科目、および、専門分野の応用領域や関連諸分野を総合的かつ体系的に理解するための科目を配置する。	【生物科学分野】 基礎生物学A②・B②、生物学②、微生物学②、細胞生物学②、生態学②、生化学②、分子生物学②、遺伝子工学②、バイオテクノロジー②、多様性生物学②、極限環境の生物学②、生物学実験①、化学実験①、海洋学②、海洋脊椎動物学②、無脊椎動物学②、魚類生理学②、プランクトン学②、海洋生態学②、海洋動物発生学②、海洋動物生産額②、動物解剖学②、動物生理学②、原生動物学②、動物発生学②、細胞組織学②、神経生理学②、野生動物保護論②、植物機能形態学②、植物生理学②、植物系統分類学②、植物生態学②、菌類学②、保全生物学② 【関連分野】 理工数学②、応用数学②、解析学②、無機化学②、有機化学②、分析化学②、化学環境学②、高分子化学②、栄養学②、運動と波動②、電磁気学②、水質環境工学②、生物環境工学②、酵素化学②	
			【情報収集力と情報発信力および専門的能力】 ②生物やそれを取り巻く環境について自ら問題を見出し、関連するさまざまな情報を収集できる能力、適切な方法で調査・研究できる能力、さらに得られたデータを複眼的・論理的に思考し適切かつ効果的に運用・伝達できる能力を修得している。	②-1 日本語および特定の外国語を用いたコミュニケーション能力を身につける科目を配置する。	【語学分野】 日本語技法A②・B②、英語A・B・C・D各②、英語コミュニケーションA・B・C・D各②、中国語AⅠ・Ⅱ/BⅠ・Ⅱ各②、フランス語AⅠ・Ⅱ/BⅠ・Ⅱ各②、ドイツ語AⅠ・Ⅱ/BⅠ・Ⅱ各②、ハンガールAⅠ・Ⅱ/BⅠ・Ⅱ各②、生物科学特別科目Ⅰ②、国際体験研修②
			②-2 科学的情報を収集・整理・分析し、数量的な分析方法を身につけ、またそれらを発信する基本的な能力を養成する科目を配置する。	②-2 科学的情報を収集・整理・分析し、数量的な分析方法を身につけ、またそれらを発信する基本的な能力を養成する科目を配置する。	【統計学分野】 基礎統計学②、環境調査法②、環境放射能計測学②、生物環境統計学②、情報活用Ⅰ②、情報活用Ⅱ②
			②-3 科学情報を適切かつ効果的に活用・伝達できるサイエンスコミュニケーション能力および的確な判断により問題を解決できる力を養成する科目を配置する。	②-3 科学情報を適切かつ効果的に活用・伝達できるサイエンスコミュニケーション能力および的確な判断により問題を解決できる力を養成する科目を配置する。	フレッシュマンセミナー④、バイオサイエンスコミュニケーションⅠ・Ⅱ各①、生物科学演習Ⅰ①、生物科学演習ⅡA・B各①、生物科学特別科目Ⅱ・Ⅲ各②、基礎理数演習Ⅰ・Ⅱ各①
			②-4 生物を対象とした調査・研究の基本的かつ汎用的な方法および技能を身につける科目を配置する。	②-4 生物を対象とした調査・研究の基本的かつ汎用的な方法および技能を身につける科目を配置する。	生物科学実習Ⅰ①、生物科学実習ⅡA・B各①、生物科学実験Ⅰ②・Ⅱ②、海洋生物学実習①、動物学実習①、植物学実習①、
			【主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢】③生物科学に係る社会の諸課題に広く興味・関心を持ち、社会の持続・発展に主体的かつ意欲的に関与する態度および生涯にわたり学び続ける自己管理能力を修得している。	③-1 社会の一員としての自覚、社会への義務と貢献への関心と意欲、主体的な行動力を養成する科目を配置する。 ③-2 医療・健康、食品、生物の保護、環境の保全・再生・修復、生物資源の有効利用などの生物科学に係る課題への問題意識を身につける科目を配置する。	いしのまき学②、キャリア設計②、キャリア開発②、キャリア研究②、復興ボランティア学②、ボランティア論②、ボランティア演習②、 生活習慣と健康管理②、衛生行政学②、環境衛生学②、公衆衛生学②、食品衛生学②、保全生物学②、野生動物保護論②、食品微生物学②、食品寄生生物学②、食品分析化学②
			【創造的思考力と研究遂行能力】 ④総合的な学習経験を通して人間活動と生物・環境に係る諸問題について自ら課題を探求できる創造的思考力および実践的な研究遂行能力を持って課題を解決できる。	④生物科学研究に関する総合的な学習経験を通して人間活動と生物・環境に係る諸問題について自ら課題を探求できる創造的思考力および実践的な研究遂行能力を身につける科目を配置する。	生物科学演習Ⅱ①、生物科学演習Ⅲ②、生物科学実験Ⅲ①、卒業研究⑥